

分会ニュース

第4号 2011/11/16
関西合同労働組合
滋賀県人権センター分会



組合員研修会

11月13日、関西合同労組・組合研修会を尼崎労働福祉会館でおこないました。新規組合員7名の参加があり、計25名の組合員が参加しました。

「非正規雇用と労働者の権利」の学習会では、チューターの佐々木副委員長は、「違法派遣」においては、派遣元だけでなく、派遣先の責任追及をおこなっていく事が大切、と力説。

初めての試みの模擬団交は、「大根役者！」のヤジも飛びましたが、組合を認めず団交をズルズル引き伸ばすケース、イジメによる雇止め解雇を追及するケースなど笑いも誘って楽しく再現できました。

また、国の無策を糾弾する、児玉龍彦さんの国会での追及発言、小出裕章さんのインタビューのビデオは、福島の子もたちの、被爆問題が、緊急課題であることを、するどく訴えるものでした。

交流会で初参加者は「初めての用語がたくさんあって、難しかった。」「原発問題には関心があって、興味深かった。」「模

擬団交は面白かった。交渉がうまくいかないケースもやって。」の感想が述べられました。

労働相談会

11月6日、恒例のJR草津駅前労働相談は、10回目になります。

今回は、滋賀の地域の仲間が中心になって実行委主催でおこないました。周辺での4000枚のビラまきをおこないました。男性2名が、相談にこられました。

スタッフの方が大勢あつまり、7名となり、食事を作って差し入れをして下さる方もあり、相談テントが交流の場になりました。高槻市議会議員の和田たかおさんが、激励にかけつけて下さいました。和田議員は、関西合同労組の仲間と共に、被災地福島に行ったり、橋下勉強会をおこなったり、非常に行動力があり、福祉関係のエキスパートであり、労働生活相談には、頼もしい限りです。今後ともよろしくお願いします。



関西合同労組は一人でも入れる労働組合です。